



議会だより そでがうら

議会のひろば

特集 座談会
「ひらおかの里農村公園管理組合と市議会」



座談会	みんなのひろば	2～3
議案	(新型コロナウイルス対策／ 新庁舎建設凍結の発議)	4～5
議決結果・人事案件		6
8人が市政を問う	一般質問	7～11
3月定例会の予定・新広報委員紹介		12

みんなのひろば

ひらおかの里

農村公園

市議会 と

昔ながらの農業と触れ合い、 子ども達に楽しい思い出を作ってあげたい



農村公園ではどんなことを
やっていますか？

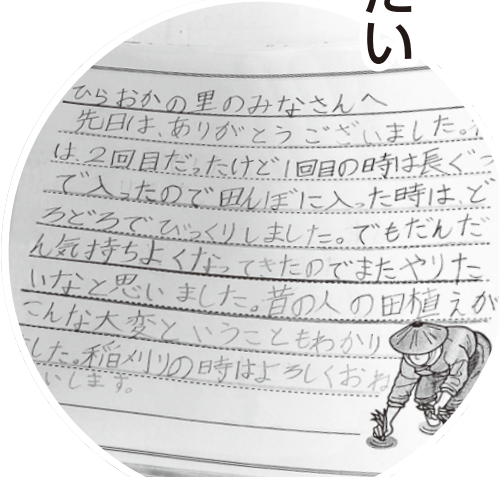
- ◆ 市内の幼稚園や保育所の子どもたちとジャガイモやサツマイモなどの収穫体験。
- ◆ 小学5年生を対象に田植えや稲刈り、正月のお飾り作り体験。
- ◆ 「田んぼの学校」(公募家族)

では、市内外から募集した家族を対象に、米作りや正月のお飾り作り、凧作り、みそ作り、かかし作りなどを行います。



大変なことは？

- ◆ ここは昔ながらの農業を子ども達に教える場所なので、手で稲刈りをしておだ*がけする。竹の材料がなければ林に取りに行き、お飾りに付けるお花やウラジロを摘みに行くので時間がかかる。
- ◆ 令和元年の大型台風で、おだ*が全部倒れてしまったので掛け直した。仕事の中で1番大変なのは、稲刈りなど田んぼ関係で、肉体的な負担が大きい。



生徒がくれたお礼の手紙

- ◆ 小さい頃に見た、自分の家のやり方なので、人に教えたことがないから初めは戸惑った。

*おだ*がけとは…木や竹などで柱を作り、横木を掛け、天日干しで稲を乾燥させること。

組合長

ひらおかの里
農村公園
管理組合員
座談会出席者



武内章一さん



柴崎嘉一郎さん



飯柴 清さん



井芹 哲男さん



鈴木 正憲さん



原とし子さん



福原 昌子さん



年間を通じて様々な 体験を提供しています

「この仕事のやりがい」は？

- ◆ 毎年、子ども達から手紙をもらうんですよ、稲刈りや田植えが体験できてよかったです。それが私達の励み。
- ◆ お米がどうやってできるか知らない子も多いから体験して知ってもらえると嬉しい。
- ◆ 子ども達が裸足になって土に触るとその感触にみんな大騒ぎする。子ども達の喜ぶ姿が嬉しい。
- ◆ 公園がきれいだと言ってくれるとすごく嬉しい。公園に来た方がいつでも楽しめるよう花を植えている。

イベント以外にも何か体験などできるのですか？

- ◆ 季節によっては、大根50円、人参5本を100円で販売している。大根は店で買う半値。市民の方が喜んでくれればいい。
- ◆ 希望があれば収穫体験もでき自分で好きなものを選んで収穫できる。
- ◆ 春になると菜花摘み体験ができる。

「これからの課題は？」

- ◆ 後継者づくりが一番の課題。

- ◆ 組合員も70歳過ぎの人ばかりなので、新たな方に来てもらいたい。
- ◆ 退職後で、家庭菜園程度しかやったことのない方がほとんどです。

議会だより

読んだことありますか？

- ◆ 見えますよ。来れば必ず読んでます。
- ◆ 知り合いが出るとよく見ます。
- ◆ 自分たちも広報に載るのか、まいつちやうな。

最後に 季節の花が花壇をかざり、畑も整備が行き届いた素敵な公園に癒されました。市でも、もっとPRをして来場者が増えるといいですね。組合員の皆さんの愛情があふれ、子ども達も貴重な経験ができる「ひらおかの里 農村公園」を応援させていただきます。

「ひらおかの里 農村公園」

お問い合わせ

イベントに関すること

袖ヶ浦市農業センター

☎(60)5171

施設に関すること

市役所農林振興課

☎(62)3442

こんなことが決まりました

12月定例会

会期 11月30日～12月18日 19日間

条例の改正…………… 5件
 指定管理者の指定について… 10件
 補正予算…………… 6件
 人事案件…………… 1件
 発議案…………… 4件

合計 26件

1月臨時会

会期 1月12日 1日間

補正予算…………… 1件

今号では
この中から2つを
Pick up!

事業名	事業費	内容
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	5,943万2千円	住民に対する新型コロナウイルスワクチンの接種を円滑に行うための体制を構築する。
高齢者等へのPCR検査助成事業	1,011万7千円	希望する65歳以上の方または65歳未満で基礎疾患を有する方のPCR検査費用を助成（上限1万円）
キャッシュレス決済レジを導入	326万7千円	手数料等受け渡し時の接触機会を減らすため市民課・行政センターにキャッシュレス決済レジを導入
公共交通感染症拡大防止支援事業	160万円	市民の安全安心な移動手段確保のため、高速バスの県内事業者へ支援金を給付（1事業者10万円かつ1路線10万円）
臨海スポーツセンター感染防止対策事業	49万円	トレーニングジムにパーティション設置

市の新型コロナウイルス感染拡大防止の独自施策として、総額1,548万円の4つの事業が12月定例会で可決となり、新たに国主導による新型コロナウイルスワクチンを接種するための体制整備予算が1月12日の臨時会で成立しました。

Pick up ①

新型コロナウイルス対策

可決

議員発議

新庁舎建設事業は凍結せよ！

否決

発議者篠崎典之議員、賛成者肋波久子議員・吉岡淳一議員より「新庁舎建設事業の凍結に関する決議案」が提出されました。

これは、新型コロナウイルスによる感染症が蔓延し、生命に危険を及ぼすとともに、外出自粛により経済活動も停滞、中小企業の倒産等で生活が困窮状態に陥るなど、将来に不安を抱いている家庭も多い状況であるため、この感染症に収束の目途が立つまで、一旦凍結することを求めるものです。

発議者に対する質疑と討論の結果、賛成少数で否決されました。



※庁舎整備後のイメージ

【質疑】

*Qは議員による質問、Aは発議者による回答です。

Q 災害時の防災拠点とするために、庁舎整備を進めているが、災害が起こった際の防災拠点をどのように考えているか。

A 万が一、震災が起こった場合は、物理的には現状の中で対応せざるを得ないと考えます。

Q 市庁舎が耐震基準を満たしていない中で、来庁者の方、職員の生命を守ることへの見解は。

A コロナ禍での市民生活を守りながら、市民・職員の命も守っていく必要があり、どちらも大切です。命を守る最大の措置を講じ、検討・見直しにつなげます。

Q なるべく市民負担が出ないように、起債・基金を活用した計画であるが、その点についての認識は。

A 予算について十分な検討がされたのか、再度、分析する必要がありません。一旦凍結し、市民生活の状況も踏まえ総合的に判断すべきです。

反対討論



「今守るべき命」「未来の命」の両方を考えることが私たち議員の使命

新庁舎建設凍結後の代替案に関する実施可能な策が明確ではない点、仮に凍結中に新たな災害に見舞われた際の「命」に関する見解に齟齬があるため反対。また都度市より市民に対し必要な指標の確認や提示を求める。

負担平準化を踏まえた計画的な庁舎整備である

庁舎整備事業を行うにあたり、

国庫補助金や起債、庁舎整備基金を活用し、一般財源の負担を最小限に抑え、財政負担の平準化を図るとのこと。計画的に庁舎整備を進めていくことから建設計画は妥当。

次の段階が見えない
発議には反対

庁舎整備を凍結しても次の段階が見えない。議会や市として何をするか作られていない中で賛成はできない。私の集めたアンケートでも85%が何らか反対している。この現状を受けとめ、今後の事業の進め方を判断してほしい。

賛成討論



庁舎整備見直しを

新型コロナウイルス

の発生から1年たった今、その感染力は衰えることはなく、日を追うごとに勢いを増している。市民の生活を第一に考えれば、新庁舎建設を一旦凍結する決議案の主旨に賛成する。

企業・税収の影響をみる
必要あり

今年度中に実施設計を終わらせ5月には工事が始まる予定。コ

ナの影響で様々な業種に経営の悪化が見込まれる中、企業の法人市民税等にもどのような影響が出るか注視するため、一旦凍結すべき。

一旦立ち止まるのも
一つの方策

財政の状況は台風、コロナ対応などで一層厳しさが予測され、今後のまちづくりや市民生活の維持に支障をきたす恐れもある。十分な市民への説明と理解を得ることができてから再開するべき。

令和2年12月定例会・令和3年1月臨時会の議決結果

12月定例会において提出された議案22件と発議案4件のうち、発議案1件を除くすべての議案について可決・同意されました。賛否が分かれた案件は下記のとおりです。1月臨時会で賛否が分かれた議案はありませんでした。

◆賛否が分かれた案件◆

○=原案賛成 ●=原案反対 欠=欠席

議案等	議決結果	付託委員会	佐藤博文	伊東章良	木村淑子	稲毛茂徳	伊藤啓	湯浅榮	根本駿輔	山口進	村田稔	山下信司	在原直樹	小国勇	笹生典之	緒方妙子	篠原幸一	吉岡淳一	肋波久子	佐藤麗子(議長)	笹生猛	榎本雅司	塚本幸子	篠崎典之
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	●
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○	●
新庁舎建設事業の凍結に関する決議	原案否決	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-	●	●	○	○

◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。 ◆議案名中の「袖ヶ浦市」及び、「～について」は省略表示してあります。

◆全会一致で原案可決された議案◆

〔12月定例会〕

- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 道路占用料に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- 火災予防条例の一部を改正する条例の制定
- 指定管理者の指定
- 一般会計補正予算（第8号・第9号）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

- 介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 下水道事業会計補正予算（第2号）
- 教育委員会委員の任命
- 議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 特別委員会の設置（環境・災害対策、議会ICT推進）

〔1月臨時会〕

- 一般会計補正予算（第10号）

詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。
 袖ヶ浦市ホームページ <https://www.city.sodegaura.lg.jp/>
 議会事務局 ☎(62)3450



▲議決結果はこちらから

【人権擁護委員が決まりました】

任期満了となる2名の再任が9月定例会において全員賛成で同意されました。



再任
井上 久子氏
任期…令和3年1月1日～令和5年12月31日



再任
鈴木 百合子氏
任期…令和3年1月1日～令和5年12月31日

- 人権擁護委員とは…人権擁護委員法に基づいて、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、人権相談や人権の考えを広める活動を行っています。市では7人の人権擁護委員が活動しています。

【教育委員会委員が決まりました】



新任
高野 隆晃氏
任期…令和2年12月21日～令和6年12月20日

前任の福島友子氏の任期満了に伴い、新たに高野隆晃氏の任命について12月定例会において全員賛成で同意されました。

8人が

市政を問う 一般質問

一般質問とは、皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ&Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。**未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中**ですのでご覧ください。会議録は2月下旬頃に掲載予定です。



よし おか じゅん いち
吉岡 淳一 議員



質問項目

- ・気候変動について
- ・新庁舎建設事業について

Q 気候変動の対応策は

A 環境基本計画を策定し温室効果ガスの削減に取り組んでいます

気候変動は各自が危機意識を持つことが大事

Q 地球温暖化による気候異変が続いている。温暖化の原因である温室効果ガスの発生抑制のため市、事業者、市民が危機意識を共有することが大事だが、気候非常事態を宣言する考えはないか。

A 市独自の気候非常事態宣言を行う

※気候非常事態宣言：国や地方自治体が気候変動への危機について非常事態宣言を行うことにより、気候変動に関する政策の立案やキャンペーンなどを優先的に行うこと。

考えはありません。国全体として取り組むことが必要と考えています。



新庁舎建設事業を見直すべきではないか

Q コロナ禍で多くの家庭が生活困窮の状態にある。感染収束が見えない状況下で市民の生活の安定を支援することが庁舎建設よりも優先ではないか。

A 現庁舎の耐震性能が不足しており、来庁者や職員を確保するため庁舎整備は急務と考えています。

Q I S 値 旧館0.46と新館0.48は差し迫った倒壊の恐れがある数値ではない。生活が困窮状態にある家庭の支援が差し迫った課題だ。

A 市民の生命、財産を守る防災拠点としての役割を果たすとともに、来庁者や職員の安全を確保するためには、庁舎整備は急務であると考えています。

*I S 値：建物の耐震性能を表すための指標

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページのほか、市役所2階の市政情報室や、中央図書館、長浦おかのうえ図書館でも閲覧できます。

会議録はこちらから→

袖ヶ浦市議会

Q検索





緒方 妙子 議員

公明党



質問項目

- ・地域公共交通の確保について
- ・家庭一般ごみ収集のあり方について

Q 高齢者タクシー利用料金助成の対象者を拡大しないか

A 新規事業なので更なる周知と利用実態を把握し効果的な実施に努めます

- Q** 交通弱者へ移動手段の確保を
- A** 必要な方へ支援が行き届いていないのが現状。次年度も同様の内容で実施するのと同様。
- Q** 要件や助成内容等は今年度の実績を鑑み、予算編成に当たります。
- A** ガウランドバスの客席を利用した試行運転の状況と今後の運行予定は、利用対象者や利用方法の案がまとまり、バスを運行している指定管理者と協定締結に向けた協議が整いました。コロナ禍の利用制限が解除された後に、平川地区で開始します。

- Q** 路線バスダイヤの改正で椎の森工業団地路線便は不便な運行になった。利用者の声は届いているか。
- A** 今後利用者の声はバス事業者へ伝え、椎の森工業団地企業にはアンケートを実施し、利便性向上を図れるようバス事業者に働きかけます。
- Q** 地域公共交通の早急な対応を伺う。
- A** 根幹を担う交通網を最大限活用し新たな移動支援も含め検討します。
- Q** 家庭一般ごみ収集について伺う。
- A** 祝日も収集するよう検討しないか。
- A** 本市は近隣市と比較して収集日は

- Q** 小さいごみ指定袋をレジ袋として販売し使用できるよう検討しないか。
- A** 新たに小さい容量のごみ指定袋の検討と共にスーパー等でレジ袋として販売し使用することも検討します。
- Q** 袋を使わずコンテナによるビン・缶の資源回収を更に周知しないか。
- A** 制度内容などを案内し推進します。
- Q** 高齢者のごみ出し支援の取組は。
- A** 相談があった場合は、生活支援を行う団体へマッチングを行います。



塚本 幸子 議員



質問項目

- ・コロナ禍における市長の政治姿勢と市政運営について

Q 市民との情報共有の場は

A 情報共有や意見の聴取に努めます

- Q** 説明責任を果たし、市民の声を聞く努力・工夫をするべきではないか
- A** 今後のまちづくりの方向性と市長自らの考え方、行政としての計画などを今年度具体的にとのよう機会、手段を講じて市民に伝えてきたのか。
- A** 広報やHPに掲載し、総合計画は概要版を作成して、公民館での配布や回覧で周知しました。
- Q** 市民への理解・浸透と市民等からの意見聴取が得られたと考えているのか。
- A** 書面での会議の開催やYouTube
- Q** 十分な感染防止対策を取りながら市民との双方向の意見交換の機会を持つべきではないか。
- A** 実施をすることについては、慎重に検討しています。
- Q** 多くの事業や会議が中止、延期、内容変更になった。がん検診を受診できなかった人には、どのように受診の機会をつくっていくのか。
- A** 受診定員を少なくしたため、受診できない方もいました。疾病の早期発見、早期治療に向けて受診は重要
- Q** 公民館やスポーツ施設、図書館、子育て施設などの公共施設の利用状況やイベントなどを周知し、市民生活にできるだけ影響が出ないよう、手段や対策を講じて事業の運営、施設利用を考えないか。
- A** コロナの終息の見込みがたっていないので、事業制限の解除の見込みはたっていない。施設の休館や再開については、HPや生活安全メールなどにより迅速に周知しています。
- Q** 希望する人が確実に受診できるように、次年度に向けて検診業者と協議を行っています。



木村 淑子 議員

公明党



質問項目

・災害対策について

Q 分散避難周知のため、マイタイムラインの作成を

A 袖ヶ浦市版マイタイムラインのシート作成、活用の検討をしていきます

- Q** 分散避難の周知のためにも、マイタイムラインの作成を
- A** 今年度末までに策定予定。会議録をHPで公開します。
- Q** 自然災害への対応は
- A** 本市国土強靱化地域計画の策定の現状を伺う。
- Q** 避難所運営と避難のあり方は
- A** 避難所として開設可能な公共施設、ホテル、旅館の活用について現状は、市内9施設で受け入れ可能。高齢者や障がい者など特別な配慮を要する方に対して提供いただけます。

- Q** 高齢者や障がいのある方が敷物な
- A** 家族で事前に避難行動を整理しておくことは非常に有用です。袖ヶ浦市版マイタイムラインのシートの作成、活用の検討をしていきます。
- Q** 避難所の感染症対策として、拡充したダンボールベッドや間仕切りなどを自主避難時にも提供しないか。
- A** 自主避難所では、飲食物や日用品などはご自身で準備していただくよう周知しています。

- Q** 防災活動について伺う
- A** 状況により臨機応変に対応します。
- Q** 自主防災組織に女性や若者に参加してもらえない理由を伺う
- A** 設立相談の際や、リーダー研修会などで、多くの団体に呼びかけます。
- Q** 災害ボランティアに一般のボランティアを幅広く受け入れるべきでは
- A** ボランティアセンターで登録受付を行っており、社会福祉協議会などにより等で情報発信していきます。



湯浅 榮 議員

清風会



質問項目

・往診について
・安全で安心なまちづくりについて

Q 往診制度を普及しないか

A 在宅医療は、超高齢化社会においては必要な医療であると捉えています

- Q** 超高齢化社会に向けて
- A** 往診の制度を普及していただけないか。
- A** 各医療機関においては、外来での診療が主となるものであり、外来診療に支障をきたさないように実施される必要があります。また、診療報酬の算定上、往診は医師が診療上必要と認める場合に行うもので、訪問診療も、継続的な診療が必要のない方や通院が可能な方に対して、安易に診療報酬に算定してはならないとされています。患者自身や家族の意

- Q** 安全で安心なまちづくりについて
- A** 防犯灯を蛍光灯からLEDにしたメリットは何か。
- A** 電気使用量が約50%削減でき、10年間の保守期間では蛍光灯は3回のランプ交換と1回の器具交換が必要となるが、LEDはその必要がなく、一基当たり1万1千円安価になります。
- Q** 防犯灯の故障を発見した場合は
- A** 各防犯灯の設置された電柱に表示

- Q** 防犯灯にかかった枝葉の伐採はどうすればよいのか。
- A** 市の管理地では、市が伐採を行います。民地においては、地権者に市役所が伐採をお願いしています。
- Q** 横断歩道の路面標示や交通標識をしっかりとメンテナンスしていかないと
- A** 千葉県公安委員会が管理する規制標識の修繕は、木更津警察署へ依頼します。
- Q** 防犯灯の故障を発見した場合は
- A** 各防犯灯の設置された電柱に表示



しの ぎき のり ゆき
篠崎 典之議員

日本共産党袖ヶ浦市議団



質問項目

- ・市民生活にとって切実に必要とされている乗合タクシー、デマンド交通の早期実現について
- ・陸上自衛隊木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備等への対応について
- ・保育所入所待ち児童の解消策について

Q 市長選で「安心して移動できるしくみを」と訴えたが

A 乗合タクシー等も含め移動手段確保を踏まえ取り組もうとするものです

Q 「中長期に取り組む」とは何年か。既存公共交通への影響や市民移動実態による検討を考慮しており具体的な

A 乗合タクシー等も含め新たな移動支援や自動運転活用の移動手段確保を地域特性やニーズを踏まえ取り組もうとするものです。

Q 市長は市長選挙で「免許を返納しても安心して移動できるしくみを目指します」と訴えた。乗合タクシーのことでないのか。説明を求める。

Q 市長選公約に基づき乗合タクシーの早期実現を

市長は市長選挙で「免許を返納しても安心して移動できるしくみを

Q オスプレイの木更津暫定配備撤回を
木更津に暫定配備されたオスプレ

A 利便性の高い移動手段確保への関心が高まっているとは解釈していません。既存公共交通への影響を考えた移動支援策を引き続き検討します。

Q 市長は議員当時のH28年12月一般質問で「高齢化が進む中、これからはより公共交通に頼る時代」と交通整備を求める質問をした。今の思いを自分の言葉で答えて頂きたい。

年数を示すものではありません。

Q 市長は議員当時のH28年12月一般質問で「高齢化が進む中、これからはより公共交通に頼る時代」と交通整備を求める質問をした。今の思いを自分の言葉で答えて頂きたい。

A 今後自衛隊省北関東防衛局から情報提供を受け、訓練状況を注視していきます。

Q 本市上空も飛行するオスプレイ暫定配備。防衛省は、市民説明会も実施しないという。抗議すべきだ。

A 訓練飛行経路に本市臨海部上空の一部が含まれ、隣接市長として市民の不安払拭の責務があります。「周辺市民へ説明の考えはない」との近隣市長への説明がありました。



ね もと しゅん すけ
根本 駿輔議員

清風会



質問項目

- ・コロナ禍も踏まえた教育環境について

Q コロナ禍で新学習指導要領学校の移行対応状況は

A 段階的に準備を進めてきており、授業進度も年内に戻る見込みです

Q 長期休校が生じたが、学力格差や精神面での問題は起こっていないか。家庭により差がある場合もあったと聞いています。学校では定着が不

A まえ、体制強化を検討していきます。

Q ICTを使った教育を支援するICTインストラクターについて、現在の体制と今後の方針は。

A ICTインストラクターは現在1名を雇用、昨年度は122回の授業支援を行っており、今後1人1台タブレットPCが導入されることを踏まえ、体制強化を検討していきます。

Q 変化する学習環境への対応

十分な内容について改めて授業を行うなど、学力差を縮めるよう努力しています。また、県から学習サポートが追加措置され、既に全小学校に配置済みです。精神面では、スクールカウンセラーや心の相談員による面談、教育相談週間の設定、アンケート実施など細心の注意を払って状況を把握に努めています。

Q 地域とともにある学校

保護者や地域住民等からなる「校運営協議会」とともに校運営を行うコミュニティ・スクール制度に

A 国、県および近隣市の動向を注視していきます。また、現在ご協力いただいている学校評議員の皆様やPTA、地域の方のご意見を伺っていきます。

Q 制度の性質上、市・学校側だけで結論を出すのは不適當では。地域の方や保護者も交えて一緒に考える機会を設けていってはどうか。

A 本市では学校評議員制度と学校支援ボランティアを充実することで、地域との連携を進めています。

※ICT(情報通信技術)・通信技術を活用したコミュニケーションをさす。

特別委員会の設置

議員の発議によって市議会に2つの特別委員会が設置されました。

①環境・災害対策特別委員会（9名）

工業地帯の環境・災害や、自然災害への対策強化についての調査・研究を行います。

委員長	緒方 妙子
副委員長	湯浅 榮
委員	稲毛 茂徳
	伊藤 啓
	村田 稔
	山下 信司
	篠原 幸一
	肋波 久子
	榎本 雅司

②議会ICT推進特別委員会（9名）

議会運営の活性化と効率化、審議の質の向上に必要な情報通信技術の活用、また、非常時も議会活動を継続するために必要な情報通信手段の確保対策についての調査・研究を行います。

委員長	根本 駿輔
副委員長	佐藤 博文
委員	伊東 章良
	木村 淑子
	山口 進
	小国 勇
	篠原 幸一
	笹生 猛
	篠崎 典之



さそう たけし
笹生 猛 議員

袖和会

質問項目

・市庁舎建設について



Q コロナ禍の庁舎建設、説明が足りないのでは

A 節目節目に説明をさせて頂きたい

庁舎整備、徹底的に説明をするところから始めよ！

Q 庁舎整備、計画策定時と現在では、前提が大きく変わった。財政的、建設地の危険性という前提の変化が計画に反映されず、市民に対する説明も十分でないが、市長の見解を伺う。

A 一般財源の負担を最小限に抑え、財政負担の平準化を図ります。建設地は周辺地盤高よりかさ上げされており、高潮浸水想定区域図での浸水と同程度となっていますので、整備計画を変更する考えはありません。

「アンケートで85%が建設反対」説明を拒む市長に絶望

Q 私が行ったアンケートで約85%が建設反対。その理由は「説明が足りない」が圧倒的に多い。

A 市長は行政運営上で説明責任をどう考えて、どう執行しているのか。

A 事業の内容、必要性、手法を含め、市民の皆様、議会の皆様に説明をしていく責任があると考えています。

Q 庁舎に関して、タイミングや内容の説明をどのように考えるか。

A これまでも節目節目において、議

会、そして市民へ説明をさせていたできませんでした。

Q 財政悪化の中で、返済が長期にわたる庁舎整備にお金を使って本当に大丈夫か不安。市が掲げる「みんなでつくる 人つどい 緑かがやく安心のまち 袖ヶ浦」だから安心をつくり出す説明をしましょよ。

A 副市長に伺う。庁舎整備を止めた時のことが整理されていない。ただ前のめりに進めるのは、副市長の信条にもとると思うが。

A 事業をやめた場合の費用については、今現在検討はしていません。

「議会のひろば」より

録画配信を
ご利用ください
定例会終了後
約1週間で
アップされます



本会議の会議録はホームページへの掲載まで約2ヶ月かかりますので、内容を早くご覧になりたい方、もっと詳しく知りたい方は、録画配信をご利用ください。
パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレット端末でもご覧になれます。

議員名・会議日から選べます。
「再生」を押すと映像が始まります。

袖ヶ浦市議会 映像 検索



〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
TEL 0438-62-3450 FAX 0438-63-5130
E-mail sode32@city.sodegaura.chiba.jp

【3月の定例会】

日	月	火	水	木	金	土
2/14	2/15	2/16	2/17	2/18 本会議 10:00～	2/19	2/20
2/21	2/22	2/23 天皇誕生日	2/24 本会議 10:00～ 一般質問受付 議会運営委員会	2/25	2/26	2/27
2/28	1	2	3	4 総務企画 常任委員会	5 文教福祉 常任委員会	6
7	8 建設経済 常任委員会	9 本会議 (一般質問) 9:30～	10 本会議 (一般質問) 9:30～	11 本会議 (一般質問) 9:30～	12	13
14	15 本会議 (一般質問予備日)	16 予算審査 特別委員会	17 予算審査 特別委員会	18 予算審査 特別委員会	19	20 春分の日
21	22	23	24 本会議 10:00～ 議会運営委員会	25	26	27

* 一般質問通告一覧表は2月26日頃、ホームページに掲載する予定です。
* 3月定例会の予定は、2月10日(水)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(62-3450)へお問い合わせください。
* 請願・陳情の受付は2月8日(月)までです。

わかりやすく、親しみやすい議会だよりに

議員改選後、新たな委員7名で「議会だより」の編集・発行に取り組みます。議会の内容をわかりやすく説明し、みなさんと議会との架け橋になれるよう、親しみのある広報を目指します。皆様のご意見や感想をお寄せください。

メールアドレス
sode32@city.sodegaura.chiba.jp



議会広報特別委員会

委員長

と な み ひ さ こ
励波 久子

副委員長

や ま く ち す す む
山口 進

委員

き どう ひ ろ ふ み
佐藤 博文

い どう あ き ら
伊東 章良

き む ら よ し こ
木村 淑子

ね も と し め ん す け
根本 駿輔

や ま し た し ん じ
山下 信司

